

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	シニアステージ米原新築工事	階数	地上3F
建設地	鳥取県米子市米原7丁目639他	構造	S造
用途地域	準工業地域 防火地域指定無し(法2)	平均居住人員	66人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	飲食店,病院,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年3月 予定	評価の実施日	2020年8月21日
敷地面積	2,316㎡	作成者	高森 知美
建築面積	902㎡	確認日	2020年8月22日
延床面積	2,421㎡	確認者	坂本 浩志



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★ B: ★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%

②建築物の取組み 94%

③上記+②以外の 94%

④上記+ 94%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア= 3.1

Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.0

Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.4

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.8

LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.1

LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.1

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 3.2

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合 オール電化建築物とし、オール電化厨房や、給湯設備にエコットを採用するなど、環境負荷低減に配慮した建物としている。		その他
Q1 室内環境 住居エリア、共用エリアをゾーニングするに当たり、建物利用の特性使用条件を考慮し、適切な計画とした。	Q2 サービス性能 バリアフリー性に配慮し、入居者がスムーズに利用できるよう配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 0
LR1 エネルギー 建物の外皮性能の向上の意識した計画とした。	LR2 資源・マテリアル 節水型の水栓の利用等を意識した計画とした。	LR3 敷地外環境 自然光を取り入れることで地球温暖化に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される